

生成AIを利用する前に 確認したい5つのこと

「龍谷大学における生成AIの活用に関する学生向けのガイドライン」より

1 個人情報や機密情報は入力しない

生成AIに入力した情報は、AIモデルの学習データとして利用され、意図しない情報流出やプライバシー侵害のリスクを伴います。

2 事実確認（裏付け）を徹底する

生成AIには事実ではない内容や偏りを含む情報を、あたかも事実であるかのように生成するといった技術的な限界があります。

3 著作権侵害に注意

生成された文章や画像が、他者の著作物を無断で含んでいる可能性があり、意図せず著作権等を侵害する恐れがあります。

4 不正な行為とみなされることがある

課題（レポート、論文）・試験・研究などにおいて、出典を明示せず生成AIが出力した内容をそのまま使うなどすると、不正な行為とみなされることがあります。

5 本来身につけられるはずだった力が身につかない

生成AIに頼りきらず、学びの質を高めるために利用しましょう。

判断に迷った場合は、担当教員に相談しましょう。
龍谷大学における生成AIの活用に関する学生向けのガイドラインでは、注意したいポイントのほか、生成AIの原理、活用例なども掲載しています。ご覧ください。

ガイドライン全文はこちら



**RYUKOKU
UNIVERSITY**